



令和元年度 No. 9

駒岡小学校だより

1月号

今年のカレンダー

校長 中山 正之

新年を迎え、校長室のカレンダーを令和2年のものに掛け替えました。新しいカレンダーは月めくりで、日付のほかに月の満ち欠け、旧暦など日々の暦に関する様々な情報が載っています。また、季節ごとの星や月のとてもきれいな写真もあり、見ていて飽きません。

掛け終わって毎月の暦をめくって眺めていると、今年は祝日にいくつかの変更があることに気づきました。まず、今年から2月23日が「天皇誕生日」となっています。そういえば、昨年の12月23日は「平成の天皇誕生日」でしたが、祝日ではありませんでした。それから、7月23日が「海の日」、24日が「スポーツの日」、8月10日が「山の日」となっています。例年であれば海の日は7月の第3月曜日、山の日は8月11日です。これは今年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、今年に限ってオリンピック開会式の前日を「海の日」、開会式当日を「スポーツの日」、そして閉会式の翌日を「山の日」と設定したのだそうです。今年のオリンピック・パラリンピックは、それだけ大きな行事なのだ改めて感じました。

他にも何かあるだろうかと眺めていると、今度は「庚子」という言葉を見つけました。ご存知の通り、今年は十二支で数えると子（ね）年です。「庚」が気になったので少し調べてみました。よく「干支（えと）」と言いますが、これは元々「十干十二支（じっかんじゅうにし）」という時間や方位などの数え方から来ており、「十干」とは「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・申・壬・癸」の10種類で数えるのだそうです。（読み方は下をご参照ください。）この十干と十二支を組み合わせると60年で一周するのが本来の干支で、この数え方によると今年「庚子（かのえね）」になるそうです。ただ最近、十干の方はあまり使われなようです。ちなみに前の「庚子」は1960年（昭和35年）で、この年に生まれた方は60年の暦が一回りするのを「還暦（かんれき）」を迎えることとなります。十二支だけでの数え方では12年で一周ですが、十干を含めると随分と長い一周です。また、干支は年だけでなく、月や日も数えられるようです。例えば「令和2年1月1日」は、「庚子（かのえね）」の年、戊寅（つちのえとら）の月、癸卯（みずのとのう）の日」となるそうです。なじみのない漢字が多く、とてもややこしいのですが、数え方を覚えられればこの表し方も意外に面白いかもしれません。

いつも何となく眺めていたカレンダーですが、あれこれと考えたり調べたりし始めると、暦というのはとても興味深いもので、昔の人々の経験と知恵が積み重なって作られていることが、改めてよく分かりました。今年は日付を確認するだけでなく、毎日がどんな日なのかをもよく見ていきたいと思えます。



本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

※十干の読み方

	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	申	壬	癸
音	こう	おつ	へい	てい	ぼ	き	こう	しん	じん	き
訓	きのえ	きのと	ひのえ	ひのと	つちのえ	つちのと	かのえ	かのと	みずのえ	みずのと